

〔一一二〕 唐會要及び通鑑による、舊唐書は本紀にも列傳にも之を十月の條に記したれど、十月には回鶻の使者が來りしものにして、公主の降嫁の途に就きしは其の翌月即ち十一月と見ざる可らず。

〔一一三〕 舊唐書本紀及び列傳（廻紇傳）に據る。

〔一一四〕 舊唐書地理志には建中元年としたれど、新唐書地理志は、之を訂して二年とせり、「元」字は蓋し「二」字を誤りたるものなるべし。

〔一一五〕 兩唐書本紀及び吐蕃傳にも皆此の遣使のことを録せり。

〔一一六〕 貞元五年沙門悟空が安西道奏事官程鏗等に従ひ、北庭を發して唐に歸るや「當爲沙河不通、取廻鶻路」と記せり（十力經序）。

〔一一七〕 多邏斯・阿撥・骨咄祿三者の徽號は Kara Balgassun の回鶻碑に記さるゝものに據れり（之と兩唐書冊府元龜等の書に見ゆる徽號との比較は篇末に附せる表に載せたり）。

俱錄毗伽の徽號は碑文中には見えざれば、冊府元龜封冊篇に載する所に據れり。

忠貞、奉誠、懷信等は、皆唐より各可汗に與へたる徽號なり、羅馬字にて記せるものは、其の原音と思惟したるものを對照せしめたるものなり。

〔一一八〕 舊唐書廻紇傳には之を同年六月のこととし本紀と合せず。

〔一一九〕 冊府元龜封冊篇によれば其の八月なり。

〔一二〇〕 冊府元龜封冊篇及び通鑑によれば其の十一月なり。

〔一二一〕 祿は囉汨の二字に更むるか、或は祿字の上に囉胡の二字を入るべきものなる可く、密は衍字なり。

〔一二二〕 囉里は里囉の誤、汨は汨の誤、密施の上には必ず沒字を脱したるものなり。

〔一二三〕 次篇三二九頁參看。

〔一二四〕 新唐書回鶻傳及び冊府元龜朝貢篇には此の年再朝貢と記せり。